

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年11月8日（月）

2 確認箇所

2号機原子炉建屋南側ヤード

3 確認項目

2号機燃料取出し用構台設置に向けた準備工事の進捗状況

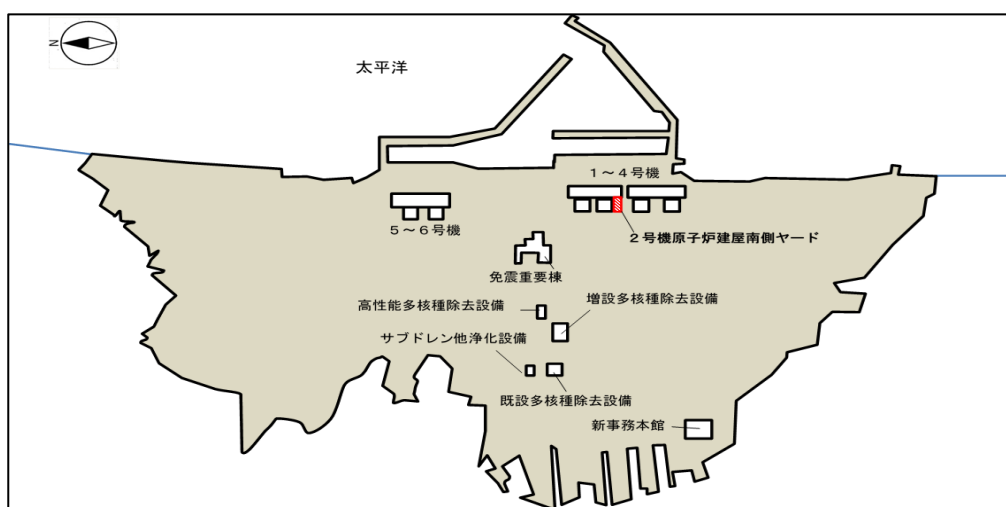
4 確認結果の概要

令和6年度からの2号機原子炉建屋使用済燃料プールからの燃料取り出しに向け、原子炉建屋南側ヤードにおいて進められている燃料取出し用構台の設置に向けた準備工事の進捗状況を前回（10月13日）に引き続き確認した。

（図1）（写真1）

- ・前回確認時に行われていた流動化処理土（MMS）※打設による埋め戻しが終了し、重機により土砂の埋め戻しが行われていた。土砂の埋め戻しが完了した箇所は敷鉄板が設置されていた。（写真2）
- ・2号機原子炉建屋の南側では、地盤改良機を用いた地盤改良が開始されていた。（写真3）
- ・東京電力によれば、地盤改良は支持層GL-14.3mからGL-4.8mまでの約10mの区間で行われ、最下層から改良材を高圧噴射することで攪拌造成としている。

※流動化処理土（MMS）：セメント、固化材、土を混合した資材で、福島第一原子力発電所では地下工作物の充填材や埋め戻し材として使用されている。なおMMSはMan Made Soilの略である。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
2号機原子炉建屋南側ヤード概観
(南西側から撮影)



(写真2-1)
MMS打設による埋め戻しの状況
(西側から撮影(10月13日))



(写真2-2)
土砂による埋め戻しの状況①
(西側から撮影(11月8日))



(写真2-3)
土砂による埋め戻しの状況②
(南西側から撮影)



(写真3)
地盤改良の状況

5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。